年度	学年	教科	授業数／週
令和8年度	2	社会科	3

教科書
東京書籍「新編　新しい社会　歴史」「新編　新しい社会　地理」
補助教材
新学社「社会の自主学習　歴史2・3」「社会の自主学習　地理2」浜島書店「学び考える歴史」

年間指導目標
近世から明治時代の歴史及び日本地理の学習をすることにより、社会的な見方・考え方を働かせ、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

観点	評価材料	評価基準
知識 ・ 技能	・定期テスト （知識及び技能） ・小テスト	定期テストとその他の評価材料の比率をし、その達成率により、下記の基準に基づきA、B、Cをつける。
思考 ・ 判断 ・ 表現	・定期テスト （思考・判断・表現） ・自己評価票の記述欄 ・レポート等	定期試験とその他の評価材料の比率をおよそ８：２から７：２とし、その達成率により、下記の基準に基づきA、B、Cをつける。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・自己評価票の記述欄 ・ワーク ・ノート ・グループでの話し合い ・授業での発言「内容」	A　・ノートに板書やプリントが全てあり。かつ、自身の記述も内容が充実している。 ・ワークは丸付け・解きなおしまで全て取り組み、期限内に提出できる。 ・自己評価票「授業で感じたこと」「疑問に思ったこと」の欄が充実している。 B　・ノートに不足があったり、記述が充実してはいない。 ・ワークの提出に遅延や再提出、不足がある場合 ・自己評価票の記述欄に記述が出来ている。 以上の不足が総合的に顕著であればC

注意事項	①ノートはA４サイズのもので、地理と歴史とを分けること ②忘れ物がある場合は必ず授業前に申告すること。
アドバイス	授業の受け方 （１）授業では、設問をよく読み、また先生の質問や指示をしっかり聞いて課題や作業に取り組みましょう。 （２）学習用具は必要に応じて用意します。作業等で色鉛筆を使うこともあるので常備しておくとよいでしょう。 （３）話し合いの時と、自分（ひとり）で考える時をしっかり区別しましょう。 ノートの取り方 （１）地理と歴史とは別に用意します （２）学習プリントは授業ごとに貼っていきます。重要語句はアンダーラインを引くなど工夫をしましょう。 （３）その他、気が付いたことがあったら書きとめておきます。 （４）最後までやり終えることができなかった箇所は、家に帰ってから補っておきましょう。 家庭での勉強の仕方 （１）予習・・・次のページの教科書を読んでおくとよいです。 （２）復習・・・教科書の太字をしっかりと理解しておくことが大切です。